



アグリサポートトラックで農家に出向きトラクターの修理をするJA職員

10月1日から新体制でスタート

農機車輛事業の出向く体制強化によるサービスの向上と整備・修理体制の強化、技術者育成を行うため、職員を集約した新体制で10月1日より運用変更を実施しています。

近年、高齢化による農家の減少とそれに伴う農地の集約が進み、大規模な担い手や法人が増加することで、高性能農機への対応と技術力の向上が求められています。また、老朽化したJA施設の高機能化も急務であり、現場では技術系職員の求職者の減少も課題となっていました。

JAでは段階的な対応に着手してまいりました。まず、農家に出向いて修理をする高機能サービスカーを導入しました。2019年に「アグリサポートワゴン」の運用を開始し、2020年1月には一層機能を充実させ、2台目として「アグリサポートトラック」を導入しました。そのことにより、組合員の農機の修理時間と費用の削減に効果があることが実証されました。同時に、職員には休日取得や労務環境の改善が見られました。本年度は、更に2台のワゴンを導入し、4台体制で運用いたします。

10月からの運用変更では、右ページに示しております大型整備機械等を備えたメインセンターと、簡易的な修理に対応するサブセンターに分かれています。サービスの向上策として、修理受付を顧客から担当者の携帯電話へ直接連絡できるようにしています。担当者が電話に出られない場合にはメインセンターへ自動転送し、対応いたします。また、人員の集約によって、ベテランから若手技術者の教育指導・育成も実施しやすくします。

今後目指しているのは「予防整備点検」です。

顧客の利便性向上と人員体制の強化を通じて、農機が壊れる前に整備点検を実施。小さな修理を重ね、機械の寿命を延ばしていくことで、農家の経費削減につなげていきます。

自己改革は現在進行形 まだまだ躍進します!!

サービスの向上と 整備・修理体制の強化を図ります

職員を集約して
出向く体制の強化と職員育成を行います。

農機車輛事業の運用変更

8つの農機車輛センターを各4つのメインセンターとサブセンターへ運用変更を行います。

修理受付の対応強化

修理受付対応を、担当者へ直接連絡できるようにいたします。担当者の業務携帯番号をお知らせしますので、相談や修理が早くできます。担当者が出られない場合にはメインセンターへ自動転送します。

出張現場での対応

アグリサポートワゴン、アグリサポートトラックでの迅速な出張対応を行います。

整備のお問い合わせはメインセンターへ:8時半～17時まで

北部第1班(菊池・七城)

七城メインセンター TEL 0968-25-1430

北部第2班(旭志・泗水)

旭志メインセンター TEL 0968-37-2208

南部第1班(合志・西合志)

合志メインセンター TEL 096-248-3786

南部第2班(大津・菊陽)

大津メインセンター TEL 096-293-2567

休日・祭日は、サポートワゴン・トラックへ:8時半～17時まで
TEL 090-4474-0269へ

*組合員の皆様には、担当者の紹介と業務携帯番号を9月10月に配布しております。ご確認ください、お気軽にお電話ください。

